

学校だより



令和元年10月31日
横浜市立二谷小学校
校長 石川 秀子

日常を大切に

学校長 石川 秀子

キンモクセイが香る季節になりました。例年では、真っ青な空にキンモクセイのオレンジ色が香りとともによく映える毎が続きますが、今年は台風や豪雨の被害に心を痛める秋となりました。被災された皆様が一日も早く日常生活を取り戻されることを願うとともに、心よりお見舞い申し上げます。

先日、横浜市児童体育大会が三ツ沢競技場で行われ、二谷小学校の6年生も参加しました。本校は地の利がよく、会場まで徒歩で移動できます。前日に比べて少し肌寒いくらいの陽気でした。6年生はいつものように走り、跳び、踊り、仲間を応援して一日を過ごしました。何より背筋をしっかりと伸ばした体育座りの美しさは、毎日の何気ない行動の一つ一つを積み重ねる大切さが表れていたと思います。

11月は、各学年の行事が続く月です。日光宿泊体験学習、神奈川区音楽会、芸術鑑賞会、全校なかよし遠足があり、12月に行われる球技大会に向けて練習も始まります。各行事は、子どもにとっては晴れの舞台でもある特別な日ですが、晴れ舞台を支え成功させるのは毎日の「当たり前」の積み重ねです。子どもたちの普段の誠実さまじめさが花開くように、毎日を大切に過ごしたい11月です。

さて先日、お便りでもお知らせしましたが、11月22日に、二谷小学校を会場にした「第68回 神奈川県数学教育研究会連合会（神数連） 横浜大会」が開催されます。毎年神奈川県各地域を会場に、算数・数学教育の向上を目指して授業実践や提案を行っています。神数連大会の特徴の一つは、小学校や中学校の研究授業を県下から推薦された他校の教諭が行うことです。10月28日にも、他校から来た授業者と、本校の子どもたちとの顔合わせの授業がありました。それぞれの学習が、子どもたちに算数を通して考えることの面白さや、考えを伝え合ってより良いアイデアを作り上げる楽しさを味わう機会になってほしいと願っています。そしていつも通りの子どもたちの学びに向かう姿が表れ、次の日常の活動につなげられるように生かしていきたいと思ひます。

今月もよろしくお願ひします。

【着任教諭の紹介】 10月下旬より、保健室支援担当の尾方典子教諭と、非常勤教諭の三木富士子教諭が着任しました。

【お知らせ】

1年2組担任 五十嵐政也教諭は後期より担任に復帰しました。

5年1組担任の石川翔大教諭は加療のためにお休みをいただいております。5年1組の指導は斎藤桂教諭を中心に複数体制で取り組んでおります。また、石川教諭が休みの間、斎藤教諭に代わって3、4年生の図工の指導は三木富士子教諭が行っています。保護者の皆様にはご心配、ご迷惑をおかけしますが、どうぞご理解、ご協力をお願いします。